

**テニュアトラック普及・定着事業**  
(実施期間：平成 23～27 年度)

## 大分大学

| (1) 制度設計  | (2) 進捗状況 | (3) 今後の進め方等 | 機関の総合評価  |
|---|----------|-------------|----------|
| <b>a</b>  | <b>a</b> | <b>a</b>    | <b>A</b> |
| 全学研究推進機構が実施する重点領域研究について、若手教員育成を目的として、テニュアトラック制度を導入し、積極的に活用していることは評価する。人数及び分野が限られており、今後のテニュアトラック制度の全学への普及・定着が望まれる。 |          |             |          |

## 全学研究推進機構

| (1) 制度設計   | (2) 進捗状況 | (3) 公募、採用及び選考等 | (4) 自立的な研究環境の整備及び育成方針等 | (5) 今後の進め方等 | 機関の評価を加味した部局の総合評価 |
|--|----------|----------------|------------------------|-------------|-------------------|
| <b>a</b>   | <b>a</b> | <b>a</b>       | <b>a</b>               | <b>a</b>    | <b>A</b>          |
| 全学研究機構において重点領域研究についてテニュアトラック制度の先行的な取組を行っていることは評価する。各部局としての取組には至っておらず、今後の全学的な取組への展開が望まれる。 |          |                |                        |             |                   |

## 総評

|  |
|--|
| 概ね順調に進捗している。学長のリーダーシップの下、テニュアトラック制度の全学的な推進を図るため、制度の重要性についての意識の浸透を図り、テニュアトラック制度の導入とその積極的な活用をしていることは評価する。人数及び分野が限られており、今後のテニュアトラック制度の全学への普及・定着が望まれる。 |
|--|

- S, s: 優れた取組を進めており、順調に進捗している
- A, a: 適切な取組を行っており、概ね順調に進捗している
- B, b: 改善を要する点がある
- C, c: 重大な問題がある